

「阿見」町名変遷参考資料

1. 「あみ」名称の歴史的起源について

- ・阿祢…和名類聚抄(931～38 成立)
わみょうるいじゅしょう
- ・阿弥神社…延喜式(927 年完成) 式内社(常陸国 28 社)
えんぎしき しきないしゃ

「あみ」の語源については、漁網の「網」、海の「ウミ」の訛などの説があるが、明確にすることは不可能である。確実に言えることは 1000 年以上前には地名、神社名としてあったということである。「安見」という漢字表記例もあるが、江戸時代以前は一般的に漢字表記が一定していないことも多い。

2. 現在の町域の成立過程と名称変遷

(1)江戸時代

仙台藩領、旗本領、天領てんりょう(幕府領)→別表参照

(2)明治以降

明治 22 年 4 月	市制・町村制による合併(阿見・君原・舟島・朝日)
昭和 20 年 5 月 27 日	阿見村町制施行(海軍記念日に合わせる)
昭和 30 年 4 月 1 日	阿見町・朝日村・君原村→阿見町
昭和 30 年 4 月 20 日	舟島村(舟子を除く)を編入

●町名選定の経緯

新町名 阿見町

新町名選定の理由：大東亜戦争終結までの海の荒鷺揺籃あらわしようにらんの地として、全国的に其の名を知られた町名であるとの理由で、阿見町としては町名を存置するよう強く希望した。

また朝日村は対等合併なので、この際他の新町名とすべきであると強く要望したため結論を得ず、暫定町名を阿見町朝日村合併決議の「阿見朝日町」、及び阿見町、朝日村、君原村合併決議の「湖南町こなん」として合併申請をなしたるも、其の後関係町村数回にわたる折衝の結果「阿見町」と決定。関係町村議会の議決を経て町名変更の申請をしたものである。

(「町村合併に関する調書」『阿見町史』所引)

【参考文献】

『茨城県史料 維新編』1969 年
『阿見町史』1983 年
清水亮『「軍都」を生きる一霞ヶ浦の生活史 1919-1968—』岩波書店 2023 年

別表

旧村名	M1村高	旧領主名(幕末)	M22町村制	備考
阿 見	1,394	旗本. 丹羽五郎左衛門 旗本. 久永伊織	阿見村	S20. 5. 27, 町制施行 阿見町(S30. 4. 1, 阿見町)
青 宿	297	仙台藩		
廻 戸	179	仙台藩		
大 室	348	仙台藩		
若 栗	780	仙台藩		
大 形	384	旗本. 梁田平七郎外9 名	君原村	S30. 4. 1, 阿見町
君 島	457	仙台藩		
石 川	508	旗本. 水野采女		
		旗本. 鈴木八十郎		
追 原	646	仙台藩		
塙	323	天領. 小川達太郎		
上 条	425	旗本. 上杉源四郎		
飯 倉	262	仙台藩		
竹 来	375	仙台藩	舟島村	舟島村の内(S30. 4. 20, 阿見町)
掛 馬	430	仙台藩		
島 津	1,211	旗本. 伊奈甚次郎		
		旗本. 曲淵甲斐守		
		旗本. 梁田平七郎		
		天領. 小川達太郎		
吉 原	707	天領. 小川達太郎	朝日村	S30. 4. 1, 阿見町
小 池	513	旗本. 鈴木八十郎		
		旗本. 上杉源四郎		
福 田	457	仙台藩		S30. 4. 1, 阿見町 S32. 7. 1, 一部牛久町へ
上 長	148	仙台藩		S30. 4. 1, 阿見町
実 穀	430	仙台藩		S30. 4. 1, 阿見町 S23. 9. 1, 一部土浦市へ
荒 川 沖	209	牛久藩		
荒川本郷	377	牛久藩		S30. 4. 1, 阿見町